D-2　今から SDGs

～プラ汚染・温暖化対策～

講義担当：横浜温暖化防止推進会議

講座対象者	□小学校低学年　□小学校中学年　■小学校高学年 □放課後施設利用児童　■中学生　■高校生　■大学生　■地域一般		
授業活用例	理科や社会の授業として実施		
関連のある SDGsのゴール		オンライン授業	■可　□不可
対応可能曜日	■平日　■休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	８時半～17 時		
年間実施上限数	特に限定しない		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（映像を視聴できる環境下の教室や部家） □ワークショップ（　　） □自然体験（　　）		
講座所要時間	45～60 分		
実施条件、必要な準備等	会場および映写設備一式（演者は資料パソコンを持参のみ）		

講座内容
他人事でないことを知って頂く工夫と対象者により資料表現等を考慮して講座を行う努力をして参ります。 1）プラスチック（プラ）ごみ汚染 ①プラの生産量、その主用途、環境への流出量及び汚染実態を知る。 ②マイクロ（ナノ）プラの生体影響の最新情報を知る。 ③プラごみ汚染は主に首都圏を流下する河川が源とされる。市内を流れる帷子川のごみ種を分析するとゴミ集積所からの散乱ごみが多いことが分かった。 ④レジ袋が有料化されて以降、河川ごみとしては激減したが、薄く半透明のフィルム状の袋は多く見つかる。 ⑤プラごみ汚染はその使用削減とともにごみの収集が必須 ⑥今から始めましょう！ 2）温暖化対策 ①温暖化がなぜ起こるかを分かりやすく、正しく理解することが大事な出発点となる。 ②温暖化がこれから人類や生物に与える計り知れない影響を理解しなければならない。 ③国の CO2 削減目標、市の目標と今どの地点にいるのだろうか？ ④どうすれば温暖化影響を小さくすることが出来るのだろうか？ ⑤あなたの目標は？私たちがやるべきことは何だろうか？ ⑥今から始めましょう！

問合せ先：横浜温暖化防止推進会議　TEL：080-9405-5664
メールアドレス：thsky@tbg.t-com.ne.jp